

---

## 「当院における DASC (Days of Antibiotic Spectrum Coverage) を用いた MSSA 菌血症に対する AST 介入効果の検討」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報等を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学病院 IRB】(倫理審査委員会)の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2013年1月1日から2022年12月31日の期間に【埼玉医科大学病院】を受診し、MSSA 菌血症と診断され、治療を行った患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

薬剤耐性菌の蔓延が世界的に問題となっていますが、抗菌薬を適正に使用することも耐性菌問題の解決方法の一つと考えられています。当院では、2017年よりAST活動を実施していますが、その活動の質を保つためにも、複数の指標を評価し続けることは重要です。

近年、開発されたDASCとは、抗菌薬のスペクトラムを考慮した指標です。個々の抗菌薬スペクトラムカバレッジ(ASC)スコアとその投与期間を用いて抗菌薬スペクトラムカバレッジ日数(DASC)を算出することができます。この指標はデ・エスカレーション戦略を含む、疾患または病原体特異的な抗菌薬使用の評価に適していると考えられますが、AST介入効果とDASCを関連づけるデータは不足しています。そこで本研究ではMSSA血流感染症患者におけるAST介入効果とDASCの関連性を評価することを目的としました。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2023年12月18日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

電子カルテを用いて臨床情報(年齢、性別、基礎疾患名、感染巣、同定菌種、治療内容、予後、合併症、血液検査所見、画像所見、生理機能検査所見、血液培養再検の有無、血液培養再検までの日数、心エコー実施率、デバイス抜去率、ソースコントロールの有無など)を収集します。

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学病院】において、研究責任者である小泉盛が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

MSSA 菌血症と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた、検査データおよび診療記録等を用います。

## 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

小泉 盛	感染対策室	薬剤師(係長)
前崎 繁文	感染症科・感染制御科	(教授)
樽本 憲人	感染症科・感染制御科	(准教授)
今井 一男	臨床検査医学	(講師)
酒井 純	感染症科・感染制御科	(講師)
戸叶 美枝子	感染症科・感染制御科	(助教)
岸 悦子	感染対策室	臨床検査技師(係長)
吉原 みき子	感染対策室	看護師(師長)
畠中 完	感染対策室	看護師(主任)
眞壁 秀樹	薬剤部	薬剤師(薬剤部長)

## 4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学病院】 病院長 篠塚 望

### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 感染対策室 小泉 盛

住所：350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1752

○研究課題名：当院における DASC (Days of Antibiotic Spectrum Coverage) を用いた MSSA 菌血症に対する AST 介入効果の検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 感染対策室 小泉 盛